



Grow the new Story.
新しい物流で、新しい社会を、共に育む。

2024年3月期第1四半期 決算説明資料

2023年7月28日
SGホールディングス株式会社

1. 2024年3月期第1四半期 決算概要 1 ~ 9

2. 2024年3月期 業績予想 10 ~ 14

3. 参考資料 15 ~ 19

2024年3月期第1四半期のハイライト

デリバリー事業では家計消費の弱まり等を背景に、宅配便の取扱個数は昨年末からの荷動きの鈍化が継続。一方、平均単価は大型の荷物が減少傾向にあるものの適正運賃収受の取組みにより上昇。ロジスティクス事業では国際経済の景気後退懸念が継続。海上・航空貨物取扱量は前第4四半期を上回るも、運賃は下げ止まらず。当期の強化ポイントである「持続的な成長に向けた社内外リソースの強靱化」のため、計画どおり期初から従業員の給与引き上げや、委託費見直し等のパートナー企業との関係強化施策を実施。

● 業界関連

- ・ コロナ禍を契機とした新たな生活様式の定着化が進み、宅配便に対するニーズが多様化
- ・ 「2024年問題」における時間外労働時間の上限規制に向けた対応や、急激なインフレの進行等を背景に、当社グループを含む大手事業者を中心に価格改定の動きが進展
- ・ 「2024年問題」への政府の対策として、2023年6月に「物流革新に向けた政策パッケージ」が策定され、輸送力不足に対応するための環境整備に向けて、商慣行の見直し等を進める方針
- ・ 国際輸送需要は、世界経済減速等に伴い縮小傾向が継続し、運賃についても低調に推移

● 当社業績の概況

- ・ 取扱個数は、物価調整後の家計消費支出の弱まり等の影響を受け、BtoB・BtoCともに減少
- ・ 平均単価は、2023年4月からの届出運賃の改定や、取引ごとの適正運賃収受の取組みにより上昇
- ・ TMS⁽¹⁾はGOAL^{®(2)}による提案営業等を継続も、感染症関連案件剥落の影響等もあり、わずかに減少
- ・ 海上・航空貨物の取扱量は景気後退懸念や米国での消費者マインドの停滞等により、前年同期に比べ大幅に減少

注記 (1) TMS: Transportation Management System、当社グループの物流ネットワークを活用した宅配便以外の付加価値輸送サービス (2) 「GOAL[®]」はSGホールディングス株の登録商標

連結業績サマリー

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益	3,869	3,185	82.3%
営業利益 (営業利益率)	332 (8.6%)	188 (5.9%)	56.6%
経常利益	357	187	52.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	234	118	50.8%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

3

■ 当社グループの業績（前年同期との比較）

- 営業収益： △ 684億円
- 営業利益： △ 144億円
- 経常利益： △ 169億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： △ 115億円

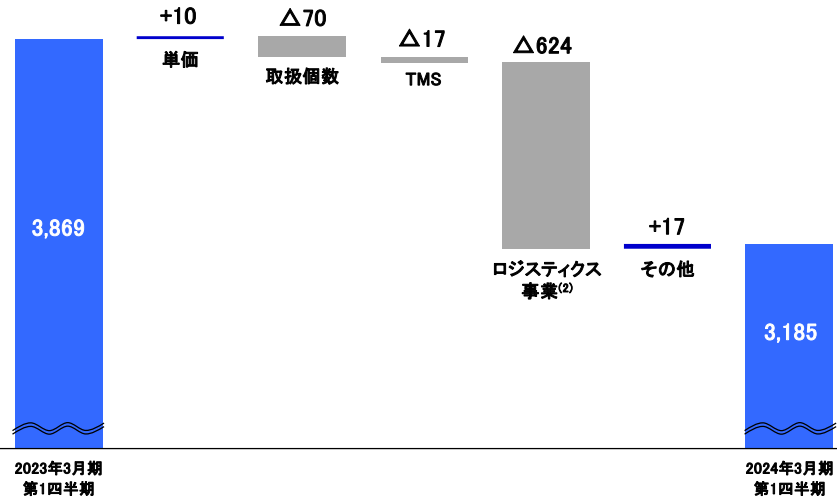
【参考】

- ROE : 8.6%（前年同期は18.5%）

※ ROEの算出方法：親会社株主に帰属する四半期純利益×4÷期中平均自己資本

営業収益の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) TMSを除く

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

4

■ 実績（前年同期との比較）

- 平均単価 : 643円 (+ 3円)
- 取扱個数 : 341百万個 (△ 11百万個)
- TMS : 269億円 (△ 17億円)

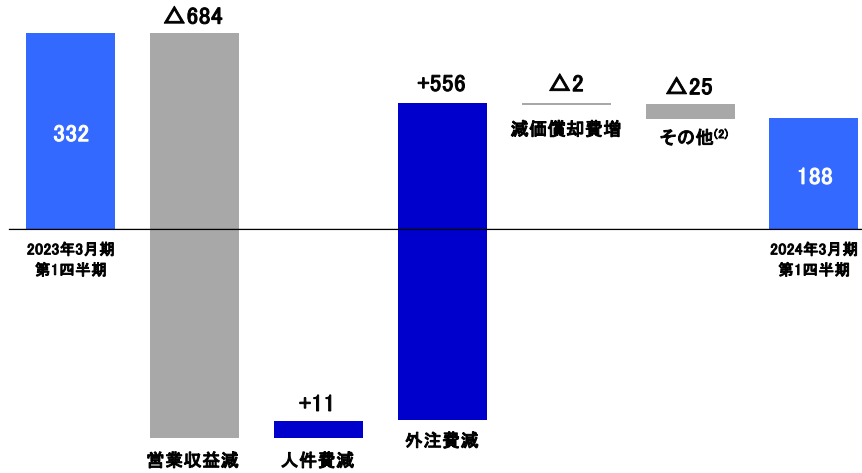
(参考) 稼働日前年増減 : 平日+1、土曜△1、日曜祝日±0

■ エクスポランカ社（ロジスティクス事業）の実績

- 営業収益 : 244億円 (前年同期差 △633億円 前年同期比 27.8%)

営業利益の増減分析

(億円)



注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 「その他」は燃料費含む

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

5

■ 主な費用の内訳

(億円)

科目	2024年3月期 第1四半期	前年同期差	前年同期比	主な要因
人件費	1,095	△ 11	99.0%	取扱個数減少による費用減、給与の引き上げ等
外注費	1,422	△ 556	71.9%	ロジスティクス事業の減収等
減価償却費	83	+ 2	103.7%	無形資産の償却等
その他 (燃料費含む)	395	+ 25	106.6%	車両仕入の増加、のれん償却、光熱費の増加等
合計	2,996	△ 539	84.7%	

セグメント別業績

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益 合計	3,869	3,185	82.3%
デリバリー事業	2,584	2,519	97.5%
ロジスティクス事業	1,140	512	44.9%
不動産事業	19	18	97.6%
その他の事業	124	134	108.3%
営業利益 合計	332	188	56.6%
デリバリー事業	219	171	78.2%
ロジスティクス事業	83	△ 11	-
不動産事業	10	11	110.9%
その他の事業	12	11	92.1%
調整額	6	4	68.8%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

6

■ 主な営業利益の増減の内訳（前年同期との比較）

- デリバリー事業 : △ 47億円
 - 従業員の給与引き上げ
 - 委託費の見直し
 - 取扱個数の減少
 - TMSの取扱減少（前期特殊要因：感染症関連案件の特需）

- ロジスティクス事業 : △ 94億円
 - 海上・航空貨物の取扱量減少及び運賃の下落

セグメント別業績概要

デリバリー事業

- 取扱個数は、物価調整後の家計消費支出の弱まり等の影響を受け、BtoB・BtoCともに減少
- 平均単価は、2023年4月からの届出運賃の改定や、取引ごとの適正運賃収受の取組みにより上昇
- TMSはGOAL[®]による提案営業等を継続も、感染症関連案件剥落の影響等もあり、わずかに減少
- 2023年4月から、コミュニケーションアプリ「LINE」において「配達予定通知」や「お荷物問い合わせサービス」等の各機能の提供を開始するなど、各種デジタルライゼーションの推進による生産性やお客様の利便性向上への取組みも継続

ロジスティクス事業

- 海上・航空貨物の取扱量は、景気後退懸念や米国での消費者マインドの停滞等により、大幅に減少
- 海上・航空運賃は下降傾向が継続し、前年度末の水準よりも更に下落
- 国内では、GOAL[®]による包括的なソリューション提案営業を継続

不動産事業

- 計画どおり進捗。保有不動産の売却は下期に予定

その他の事業

- 前期において半導体不足等の影響で不振であった新車販売が回復

連結キャッシュ・フロー計算書

主要キャッシュ・フロー項目

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	494	186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 76	△ 143
フリーキャッシュ・フロー ⁽²⁾	418	42
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 345	△ 284
現金及び現金同等物の増減額	94	△ 210
現金及び現金同等物の四半期末残高	968	1,571

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) フリーキャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

■ 連結キャッシュ・フロー

(億円)

・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		186
主な内容：		
税金等調整前四半期純利益		188
減価償却費		82
賞与引当金の増減額	(△は減少)	118
売上債権の増減額	(△は増加)	117
仕入債務の増減額	(△は減少)	△ 57
未払費用の増減額	(△は減少)	26
未払消費税等の増減額	(△は減少)	26
法人税等の支払額		△ 294
・ 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 143
主な内容：		
有形固定資産の取得による支出		△ 124
無形固定資産の取得による支出		△ 18
・ 財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 284
主な内容：		
短期借入金の純増減額	(△は減少)	△ 45
長期借入れによる収入		34
長期借入金の返済による支出		△ 49
リース債務の返済による支出		△ 17
自己株式の取得による支出		△ 39
配当金の支払額		△ 165

連結貸借対照表

(億円)	2023年3月期末	2024年3月期 第1四半期	(億円)	2023年3月期末	2024年3月期 第1四半期
流動資産	4,065	3,781	負債	3,375	3,236
現金及び預金	1,782	1,571	買掛債務	765	719
営業債権及び その他の債権	1,853	1,761	有利子負債	972	948
棚卸資産	219	217	その他	1,637	1,568
その他流動資産	210	230			
固定資産	4,984	5,107	純資産	5,674	5,652
有形固定資産	3,922	4,023	親会社株主帰属分	5,538	5,511
のれん	120	126	非支配株主持分	135	140
その他固定資産	941	957			
資産合計	9,049	8,888	負債純資産合計	9,049	8,888

注記 (1) 億円未満切り捨て

■ 自己資本比率

- 自己資本比率： 62.0% (前期末比 +0.8ポイント)

1.	2024年3月期第1四半期 決算概要	1 ~ 9
2.	2024年3月期 業績予想	10 ~ 14
3.	参考資料	15 ~ 19

2022年度～2024年度

中期経営計画

SGH Story 2024

<基本方針>

持続可能な成長を実現する
次世代の競争優位性創出

<重点戦略>

- ① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化
- ② 競争優位創出につながる経営資源の拡充
- ③ ガバナンスの更なる高度化

経営戦略

① 総合物流ソリューション(GOAL®)の高度化

- 脱炭素をはじめとした社会・環境課題解決に向けたサービスの推進
- TMS・3PLネットワークの拡充と周辺ソリューションの高度化
- 国際・海外向けサービスの強化
- 宅配便のサービス向上と効率化による収益性向上

② 競争優位創出につながる経営資源の拡充

- アライアンスを含めた国内外輸送ネットワークの強化
- 人的資本への投資及びエンゲージメントの向上
- DXへの投資による競争優位の創出
- オープンイノベーションなどによる新たな価値の創造

③ ガバナンスの更なる高度化

- グローバル化に対応したガバナンスの構築
- コンプライアンスの継続的な高度化

連結業績予想及び配当予想

		2023年3月期 実績	2024年3月期 前回業績予想 (2023年4月28日公表)	2024年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
(億円)						
営業収益		14,346	13,800	13,800	96%	100%
営業利益 (営業利益率)		1,352 (9.4%)	1,055 (7.6%)	1,000 (7.2%)	74%	95%
経常利益		1,379	1,065	1,010	73%	95%
親会社株主に帰属する 当期純利益		1,265	715	680	54%	95%
(円)						
1株当たり 配当金	第2四半期末	25	26	26	+1	±0
	期末	26	26	26		
	合計	51	52	52		

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 2024年3月期業績予想の前提: デリバリー事業平均単価648円、取扱個数14.0億個

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

12

■ 通期業績予想（前回予想との比較）

第1四半期の業績と足元の状況を踏まえ見直し

- 営業収益： [修正なし]
- 営業利益： △ 55億円
- 経常利益： △ 55億円
- 親会社株主に帰属する当期純利益： △ 35億円

- 平均単価： 648円（前期差 + 5円） [修正なし]
- 取扱個数： 14.0億個（前期比 99%） [修正なし]
- TMS： 1,280億円（前期比 107%） [修正なし]

【参考】営業費用の内訳

- 人件費： 4,470億円（前期比 104%） [修正なし]
- 外注費： 6,340億円（前期比 94%） [+55億円]
- 減価償却費： 325億円（前期比 99%） [修正なし]

連結業績予想(第2四半期累計)

(億円)	2023年3月期 第2四半期累計 実績	2024年3月期 第2四半期累計 前回業績予想 (2023年4月28日公表)	2024年3月期 第2四半期累計 業績予想	前年同期比	前回予想比
営業収益	7,513	6,670	6,670	89%	100%
営業利益 (営業利益率)	641 (8.5%)	430 (6.4%)	385 (5.8%)	60%	90%
経常利益	665	430	385	58%	90%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	519	285	255	49%	89%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

13

■ 第2四半期累計の業績予想（前回予想との比較）

- 営業収益： [修正なし]
- 営業利益： △ 45億円
- 経常利益： △ 45億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益： △ 30億円

セグメント別業績予想

(億円)	2023年3月期 実績	2024年3月期 前回業績予想 (2023年4月28日公表)	2024年3月期 業績予想	前期比	前回予想比
営業収益 合計	14,346	13,800	13,800	96%	100%
デリバリー事業	10,473	10,620	10,620	101%	100%
ロジスティクス事業	3,148	2,450	2,450	78%	100%
不動産事業	195	125	125	64%	100%
その他の事業	528	605	605	115%	100%
営業利益 合計	1,352	1,055	1,000	74%	95%
デリバリー事業	997	830	830	83%	100%
ロジスティクス事業	192	95	40	21%	42%
不動産事業	99	75	75	75%	100%
その他の事業	42	45	45	105%	100%
調整額	20	10	10	49%	100%

注記 (1) 億円未満切り捨て

Copyright © 2023 SG HOLDINGS CO., LTD. All Rights Reserved.

14

■ セグメント別業績予想（前回予想との比較）

・ 営業収益（全セグメント） [修正なし]

・ 営業利益 △ 55億円

デリバリー事業	—
ロジスティクス事業	△ 55億円
不動産事業	—
その他の事業	—
調整額	—

・ ロジスティクス事業 業績予想の前提

エクスポランカ社業績・取扱数量予想

業績 : 営業収益 1,370億円 (前期比 66%) [修正なし]

営業利益 5億円 (前期比 4%) [△55億円]

取扱数量 : 航空 90千t (前期比 86%) [+10千t]

海上 180千TEU (前期比 89%) [+20千TEU]

第2四半期以降の為替レートは1\$=140円で予想 (前回予想1\$=130円)

*エクスポランカ社業績はIFRS基準に基づく

1.	2024年3月期第1四半期 決算概要	1 ~ 9
2.	2024年3月期 業績予想	10 ~ 14
3.	参考資料	15 ~ 19

エクスポランカ社の実績

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益	877	244	27.8%
営業利益	71	△ 20	-
航空 数量(千t) ⁽²⁾	32	21	65.2%
海上 数量(千TEU) ⁽²⁾	78	40	51.8%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 小数点以下切り捨て

商品・サービスの状況

デリバリー事業 取扱個数・単価の状況

(百万個、円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
取扱個数合計	352	341	96.9%
飛脚宅配便 ^{②④}	339	329	97.1%
その他 ^③	13	11	91.5%
平均単価	640	643	100.5%

e-コレクト^④ 個数・決済金額の状況

(百万個、億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
個数	17	14	87.8%
決済金額	1,991	1,798	90.3%

TMSの状況

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
売上高	286	269	94.0%

注記 (1) 億円未満切り捨て (2) 飛脚宅配便は、佐川急便株式が国土交通省に届け出ている宅配便の個数 (3) その他は、飛脚ラージサイズ宅配便^④及びその他の会社の取扱個数
(4) 「飛脚宅配便」、「飛脚ラージサイズ宅配便」、「e-コレクト」はSGホールディングス株式の登録商標

営業費用の内訳

連結決算 主要費用項目

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
営業費用 合計	3,536	2,996	84.7%
人件費	1,106	1,095	99.0%
外注費	1,979	1,422	71.9%
燃料費	32	30	95.3%
減価償却費	80	83	103.7%
その他経費	338	364	107.7%

デリバリー事業 主要費用項目

(億円)	2023年3月期 第1四半期	2024年3月期 第1四半期	前年同期比
営業費用 合計	2,485	2,466	99.3%
人件費	926	913	98.6%
外注費	1,215	1,207	99.4%
燃料費	31	30	96.1%
減価償却費	54	53	98.9%
その他経費	257	261	101.7%

注記 (1) 億円未満切り捨て

従業員・車両・拠点の状況

(人、台、拠点)		2023年3月期末	2024年3月期 第1四半期末
連結従業員数	合計	94,087	93,953
(うちパートナー社員等 ⁽¹⁾)		(41,819)	(40,911)
デリバリー事業		75,105 (32,321)	74,162 (31,248)
ロジスティクス事業		13,891 (7,104)	14,568 (7,170)
不動産事業		98 (-)	98 (1)
その他の事業		4,223 (2,206)	4,379 (2,299)
全社(共通)		770 (188)	746 (193)
佐川急便	車両台数	26,270	26,102
	主な拠点数	852	852
	中継センター	22	22
	営業所	427	427
	小規模店舗 ⁽²⁾	403	403

注記 (1) 期中の平均人員数 (2) サービスセンター、デリバリーセンターの合計

ディスクレイマー

本資料は、SGホールディングス㈱(以下、「当社」とします)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて、「当社グループ」とします)の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を目的とするものではありません。また、本資料の全部または一部を当社の承諾なしに公表または第三者に伝達することはできません。

本資料に、当社に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれることがありますが、これらに限られるものではありません。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づき、本資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)は、客観的には不正確であったり、または将来実現しないという可能性があります。

このような事態の原因となりうる不確実性やリスクとしては、金利の変動、株価の低下、為替相場の変動、保有資産の価値変動、信用の低下、国内外の企業の生産活動または個人消費の低迷、原油価格の高騰、人件費の高騰、EC市場の低成長、システム・事務・人的・法令違反リスク、不正・不祥事の発生、風評・風説等によるイメージ・信用の低下、事業戦略・経営計画が奏功しないリスク、業務範囲の拡大等に伴う新たなリスク、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、業務提携・外部委託等に伴うリスク、繰延税金資産の減少その他様々な要因が挙げられますが、これらに限られません。

なお、本資料における記述は本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。

また、本資料に記載されている当社グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。